

新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する  
厚生労働省対策推進本部会議概要（第2回）

1 日 時：令和2年1月30日（火）17時35分～17時50分

2 場 所：専用第22会議室（18階）

3 出席者

本部長：加藤厚生労働大臣

本部長代理：稲津厚生労働副大臣

本部長代理：自見厚生労働大臣政務官

副本部長：事務次官、厚生労働審議官、医務技監

本部員：大臣官房長、総括審議官、他部局長、関係審議官

4 大臣からの発言

新型コロナウイルスに関連した感染症については、現下の感染拡大の状況を踏まえ、感染拡大防止に万全を期するため、本日昼に、総理を本部長とし、私を含む各閣僚をメンバーとする「新型コロナウイルス感染症対策本部」の第1回が開催されました。

総理からは、

- ・ 今回のウイルスの特性をしっかりと踏まえながら、感染拡大の防止を何よりも第一に、事態の推移を十分に注視しながら、これまでの発想にとらわれることなく、柔軟かつ機動的な対策を講じること
- ・ 残りの希望者全員の確実な帰国に向けて引き続き取り組むとともに、帰国者の皆さんの健康管理に、引き続き万全を期すこと
- ・ 症状の有無に関係なく、ウイルス検査を含め、お一人お一人の健康状態をしっかりと確認し、そのために必要となる医師の派遣も迅速に行うこととの指示がありました。

私からは、新型コロナウイルスの感染状況、武漢市等からの帰国者の健康状態の確認状況、「健康フォローアップセンター」と「コールセンター」の設置などの厚生労働省のさらなる対策強化の内容について、説明しました。

新型コロナウイルスによる感染状況については、本日9時時点で、中国において約7711名の患者が確認されており、そのうち170名が亡くなっているほか、日本においても9名の患者と2名の無症状病原体保有者が確認されています。

また、政府のチャーター機により、武漢市等から、昨日206名、本日2

10名の邦人の方々が帰国され、本日帰国された方々の中には、呼吸器症状等の症状があった方が13名いらっしゃったと承知しております。

呼吸器症状等があった方については、東京都の医療機関を受診していただき、新型コロナウイルス検査を受けていただいています。

症状がない方についても、患者が急増している地域からの入国であることを踏まえ、ご本人が安心して通常の生活を送ることができるよう、国立国際医療研究センターにおいて、健康状態を確認するとともに、新型コロナウイルス検査を受けていただいています。

その結果、昨日武漢市からのチャーター便により帰国された邦人については、1名の患者、2名の無症状病原体保有者が確認されました。これらの方については、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を確実に行ってまいります。

また、検査の結果が陰性の方も、今後、症状が現れる可能性も否定できないことから、安心のために、引き続き、最大限2週間ホテルに滞在いただくようお願いしております。

感染症への対応にあたっては、常に様々な展開を想定し、事態の悪化にも備えながら先手先手で対策を講じていくことが必要です。

本日の総理の御指示を踏まえ、水際対策と感染拡大防止、国民の皆様への丁寧な説明に、厚生労働省一丸となって取り組み、国民の皆様の安全・安心の確保に万全を期すようお願いいたします。

## 5 議事概要

- 健康局長から、最新の状況と指定感染症の指定について説明。
- 生活衛生・食品安全審議官から、邦人帰国に係る検疫対応と検疫フォローアップセンターについて説明。

(以 上)